

晃の園だより

<http://www.surugakai.net/hikari/>



味の決め手はハート形

これまでユニットでの調理もいろいろやりました。でも今度はいつもと少し違ったメニューも試してみたい。そんな声から生まれた今回のメニューはハンバーグでした。皆でわいわい楽しみながらの調理は、ハートの形をしたハンバーグの出現で盛り上がりも最高潮に達しました。

調理の様子、音、匂い、そして笑い。食事を美味しく、そして楽しくするための隠し味がギュギュッと詰まった昼食でした。



普段の生活の中で

外出でもなく特別なイベントでもない・・・、普段の生活の風景です。こういった普段の生活の中での入居者の笑顔こそが、とても大事なものに思えます。



暴風雨の影響で落ち葉が散乱していた駐車場。その掃除の手伝いを入居者様にお願いしてみたところ、快く承諾いただきました。台風が通過した後の気持ちよい青空の下、入居者様は慣れた手つきで箒と塵取りを操っていました。



新しい市の広報誌が届きました。先日取材された記事を探してさっそく表紙を開いてみると、素敵な笑顔の写真が載っていました！「すごくよく撮れた写真だねえ…」と入居者様。関心しながら記事を読まれていました。



このバルコニーは天気の良いとても快適な場所になります。この場所で、こちらの入居者様は時々花壇のお花に水をやってくださいます。愛情を沢山そそがれた植物は綺麗な花を咲かせその気持ちに応えてくれています。

「花のある暮らし」にご協力をお願いします

入居者様にご面会の際、ユニットへお菓子などの贈り物を頂くことがございます。園では皆様のこういったお心遣いにいつも大変感謝しております。しかしながら、入居者様の中には様々な事情で食に関して制限を受けている方もいらっしゃいます。そこで、皆様のそのようなお気持ちをお菓子等の食べ物からお花などの贈り物に代えて、お部屋やユニットの食堂等を彩っていただくというのはいかがでしょうか。

「花のある暮らし」さりげなく花が飾られ、四季を感じられる潤いのある空間・・・。私達はそんな雰囲気作りを心がけています。大変あつかましいお願いではありますが、花のある豊かな暮らしの演出にご理解とご協力をお願いいたします。

ここに掲載した写真や記事は、晃の園ホームページ上の掲示板「旬のネタ」から抜粋したものです。掲示板「旬のネタ」には現場からのニュースが随時掲載されています。ここに掲載しきれなかったニュースや話題もたくさんありますので、ぜひご覧ください。晃の園ホームページには”晃の園”で検索するか次のアドレスからアクセスしてください。

<http://www.surugakai.net/hikari/>

焼きものの美味しい季節

気候が涼しくなるこの季節は暖かい食べ物美味しく感じられる季節でもあります。焼きものを対象とした行事がこの季節に多くなるのも自然な成り行きですね。



炭を使った焼きものでは、すっかり毎年の定番となった焼き芋の他に今年はサンマも登場。こんがり焼き色のついたサンマから油が炭火に落ちて煙が舞い上がると、あたり一面にいい匂いが広がっていました。

炭火を使った本格的なもの以外にも、ホットプレートを使い、いつもの食堂で気軽に調理を楽しむ風景も多く見られました。また近隣の団体さんに協力いただき、園内でのきんつばの調理実演販売も企画運営され好評を博していました。

定番の食事の楽しみに“飽きる”という言葉は無縁です。これからも季節ごとの食の楽しみを大切に、繰り返し企画していきたいと思います。



巻いて巻いて～
太巻き寿司

「お寿司が食べたい！」の声にお応えして

入居者様の「寿司食いたいやあ。太巻きがいい。」の一言から太巻き寿司作りに挑戦しました。巻いた具は…きゅうり・卵焼き・職員味付けのかんぴょう・桜でんぶなどなど。人生のベテランでもある職員さんに具の切り方から教わりながら、巻いて巻いて～、つまんで～、つまんだのばれちゃった瞬間にみんなで大笑いしていました。

皆で笑いながら作った太巻き寿司は、勿論味も二重丸でした。





こねて
こねて
こねて



10月3日は今年の中秋の名月でした。すっきり晴れ渡った夜の空に大きな満月が悠々と浮かび、地上の私たちを見下ろしていました。いっぽう地上では、ススキを用意して団子をこしらえ、準備万端整えて月の出番を心待ちにしていた入居者の皆さんが名月を楽しんでいました。



丸めて
丸めて
丸める



どんなに月が綺麗でも
お団子抜きでは楽しめぬ

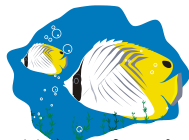
当日は園内のあちこちで団子を作る光景を見ることができました。皆さん、さすがに手馴れた様子であつという間に丸め終わっていたようです。まん丸や真ん中がへこんだへそ餅風まで様々な形の団子がたくさん用意されました。



日が暮れるとともに、空には大きな満月がゆくりと姿を現しました。月を見上げ月に思う。入居様様の心の中にある記憶を満たした静かな淵。その水面に映った月は静かにそそいていつまでも揺れていました。



しつらえを考える



最近、とあるユニットの入り口に綺麗な水槽がお目見えしました。かわいい緑に囲まれたその水槽では、小さな魚たちが気持ちよさそうに泳いでいます。外部研修で刺激を受けた職員が自分で企画して雰囲気作りに乗り出したようです。



この空間で毎日の生活を送られる入居者様のための雰囲気作りであるのは勿論ですが、それだけではないようです。「工夫や改善を続けることで職員自身のモチベーション維持にも一役買います」。頼もしい言葉に色々な意味で今後が楽しみになりました。